

## 瀬戸市国民健康保険運営協議会議事録

開催日 令和3年2月1日 月曜日

開催場所 書面会議

出席者 会長 小林甲一  
(12名) 副会長 田邊美千代  
委員 堀谷幸敏、高島八十三、服部富久美、片岡清実、  
青山貴彦、梅林隆、山田英夫、近藤康博、伊藤勉、  
伊里久仁子

会議の事務に従事した職員 健康福祉部 部長 中桐章裕  
国保年金課 課長 大岩三明 主幹 佐野伸二  
課長補佐 畠山文子 給付係長 柴田純一  
保険料係長 榎本進一 給付係保健師 奥野ひふみ  
給付係主事 山口彩乃

傍聴者 0名

### 議 事 内 容

#### 1 諮問事項

- (1) 令和2年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について承認<意見なし>
- (2) 令和3年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計当初予算(案)について承認<意見なし>
- (3) 瀬戸市国民健康保険条例及び施行規則の一部改正(案)について承認

(委員)

国民健康保険税=保険料と思うが、この見直しにより保険料は変化するのか。

資料3-3の2に「不利益が生じないようにする…」 「その影響を遮断するため…」 と記載されているが。

(事務局)

国民健康保険法施行令の改正に伴う当条例及び施行規則の一部改正は、個人所得課税の見直し(税制改正)に伴い、国民健康保険料の負担水準に関して意図せざる影響や不利益(保険料が高くなる等)が生じないようにするもので、基本的には保険料の変化は生じさせないようにすることを目的としている。

(一部の被保険者(自営業やフリーランス、農業などで事業収入だけの者)については、軽減対象の拡大や、所得割の賦課ベースの所得が縮小する事が見込まれるが、意図せざる影響や不利益(保険料が高くなる)ではない。)

#### (4) 瀬戸市国民健康保険データヘルス計画(第2期計画)中間評価について 承認

事業評価等について

##### ア 事業評価

適切に行われている。

##### イ 保健事業の5つの柱 瀬戸市が抱える10の課題の見直し

適切な見直しが行われている。

##### ウ 中間評価冊子全体

適切に取りまとめられている。

各委員の関係団体等で取り組まれている保健事業や健康に関する内容及び本計画の全般に関する意見等

(委員)

令和2年度は、市民の皆様との調理実習や健康教室が新型コロナウイルス感染症拡大によりほとんど行えず残念であった。

来年度もどのようになるか現在は先が見通せないが、調理実習をしなくても違う形で市民の健康増進や健康寿命の延伸に繋がる食育活動をしていきたいと思う。

(委員)

前回でも出た「地域の特性に応じた事業の実施」に力点を置いていただきたい。

(事務局)

ご指摘ありがとうございます。

地域の健康課題を把握し、事業実施を検討していきたいと思う。今後も本運営協議会にてご意見賜りたい。

(会長)

保健事業や健康づくり事業をまちづくり活動や社会教育などもっとからめていくことが大事だと思う。

ポストコロナ社会における地域保健の動きや地域の医療提供体制の見直しを注視する必要がある。

(委員)

私は、瀬戸支部（瀬戸市、尾張旭市、長久手）理容組合の経理と共済を担当している。保険も年金まで色々多く取り扱っているが、がん保険がもっとも多く、加入者が多い。私自身健康に気を付けている。人生で病院には、10回未満。だからキャッチコピーの「ほっときますか？」「ホッとしますか？」は心にひびく。

市民一人一人健康であれば、何かに貢献できると思う。

(委員)

毎年秋（10月）に、地域の老人クラブの方と地元の民生委員児童委員で、グラウンドゴルフ大会を行っている。

## 2 報告事項

新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の延長について  
<意見なし>

## 3 その他

令和3年度 瀬戸市国民健康保険特定健康診査受診券等の変更について

**【健診受診率向上の取り組み：キャッチコピー選定】**

### (1) 受診券送付用封筒に掲載するキャッチコピー

「わたしのため、家族のために健康診査」：9票

「ほっときますか？ホッとしますか？」：3票

(会長)

「わたしのため、家族のために健康診査」について、「わたしのため、家族のためにも健康診査」というように「も」を入れた方がキャッチコピーとして深みがあるような気がする。

### (2) 健診受診率向上に繋がる取り組みについて

(会長)

「受けてよかった健康診査」というテーマで市民の声や体験談を集めて発信する。

(委員)

夏頃に「受診（健診）しましたか？」ハガキを再度送る。

地域の町内会回覧板に「健診をしましたか？」の知らせの広告を入れてもらう。

(委員)

市民の方々に受診が手間、面倒、不安等受診しようという意思が上記よりも優先順位が上がらないことなども一因としてあるのではないか。

他市等で受診率の高い所では、どのような取り組みをされているのか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

健康診査に関する負のイメージを払拭できるような周知を検討していきたい。

また他市等の健診受診率向上の取り組みとしては、本市と同様に対象者への受診券送付や受診勧奨はがきの送付がある。本市が令和元年度に実施したパターン別の受診勧奨はがきの送付は受診率向上につながっており、他市でも同様の成果が得られている。今後も健診受診率が向上する取り組みを実施していきたい。

(委員)

受診期間をもう少しのばしてほしい。

仕事を持っている場合、特にそれを希望する。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

働き盛りの世代である40歳代・50歳代は健診受診率が低いため、受診につながるような取り組みを検討していきたい。